

## DX加速化プロジェクト形成事業について

## 1 概要

産業分野の競争力強化や地域課題等の解決を図るため、アイデアソンの開催等により選定した実証プロジェクトの実践を通して、デジタル化及びDXの先行事例を創出する。  
なお、プロジェクト管理業務はICT、DXの知見を有する企業に委託する。

【6月補正予算額】	18,041千円
内 訳：① 共創プラットフォーム運営事業（PMO委託）	3,041千円
② DXプロジェクト実証事業（3件分）	15,000千円
※ PMO（プロジェクト・マネジメント・オフィス） → 個々のプロジェクトの進捗管理及び品質管理を担当する。	

## 2 進捗状況等

## 【アイデアソン（第1回）】

- ・開催日 令和3年7月21日（水）
- ・参加者 30団体、43名  
[内訳] 企業21社、市町村2団体（美郷町、北秋田市教育委員会）  
県7課（都市計画課、観光戦略課、観光振興課、スポーツ振興課、  
移住・定住促進課、農林政策課、教育庁義務教育課）
- ・内 容 コンソーシアム会員10社から11提案、県6課から7提案の発表を行い、  
8グループに分かれてアイデアをブラッシュアップした。

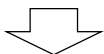


## 【アイデアソン（第2回）審査会】

- ・開催日 令和3年8月18日（水）
- ・申請者 5提案（5団体）
- ・審査 審査員5名により、先進性、将来性、実現可能性等を採点し、基準点（平均60点以上）を上回った二つの提案を委託候補者として選定した。
- ・選定案 1. 「DEGI-MACHI-AKITA」デジタルシティあきた  
2. データとデジタル技術を活用したスポーツ参画人口拡大実証事業  
(詳細は別紙参照。)



選定された実証プロジェクトの内容に応じた県担当課に500万円/件（上限）の予算を再配当（委託費）し、実証プロジェクトを実践する。



今年度の実証結果について、成果報告会を開催した上で、DX戦略本部会議で報告する。

## 【選定された実証プロジェクト提案】

1	事業名	「DEGI-MACHI-AKITA」デジタルシティあきた
	提案者	株式会社ゼロニウム
	担当課	建設部都市計画課
	事業概要	
	<p>秋田県内の3D都市モデルを構築し、ハザードデータを取り組むことで県民の避難行動について変容を促すことや、3D都市モデルを新たな情報提供（観光情報、イベント情報、公共工事情報など）の手法として展開する。持続可能で、全体最適・市民参加型・機動的なまちづくりの実現を目指す。</p>	

2	事業名	データとデジタル技術を活用したスポーツ参画人口拡大実証事業
	提案者	エイデイケイ富士システム株式会社
	担当課	観光文化スポーツ部スポーツ振興課
	事業概要	
	<p>「スポーツ立県あきた」宣言の趣旨を具現化するため、スマートフォンアプリなどのデジタル技術を活用したスポーツ参画人口（実践、観戦など）の拡大、スポーツを切り口にした企業活動の促進、健康経営に取り組む企業の拡大、スポーツ関係データの活用を実証する。</p> <p>具体的には、スポーツとの関わりに応じて、協賛企業の商品との交換、スポーツ関係団体への寄付などが行えるポイントを付与することや、スポーツイベントと人流などの関係データを分析することでデータ活用の促進を図る。</p>	